

令和3年6月1日

保護者様

神崎市立千代田東部小学校
校長 五反田 康子

毎日の登下校中の傘の使用について（お知らせ）

梅雨の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育についてご理解ご支援をいただきありがとうございます。

さて、ご存じのように、本校では新型コロナ感染防止対策のため、学校では、登下校時を含め常時マスクを着用しています。6月に入り本格的に蒸し暑い梅雨の季節になり、心配になることが熱中症です。

そこで本校では、昨年度に引き続き、登下校時に傘を差すことで、新型コロナ感染防止と熱中症対策に取り組めます。傘を差すことで以下の利点があります。

- ① 子どもと子どもとの間の距離の確保ができる。
- ② 距離を確保することで、マスク着用が不要になる。
- ③ 日傘の役割を果たすことで、直射日光を遮ることになり、熱中症予防になる。

傘で片手がふさがるため、できるだけ手荷物を少なくする対応（ランドセルの中に入れる分量調整等）をいたします。

なお、新型コロナウイルス感染予防については、日々状況が変化しているため、学校の教育活動に変化が生じる場合があります。その時は改めてメール等でお知らせ致します。

記

【登下校時の傘の使用について】

- 目的
 - ・登下校時のソーシャルディスタンスを確保する。
 - ・熱中症対策のために、あごマスクでよい（マスク着用をしない）。
 - ・傘による直射日光の軽減
- 方法
 - ・傘（日傘も可）を差して、一列で安全に登下校をする。
 - ・傘を振り回すなどの危険なことはしない。
 - ・学校では、児童玄関の傘立てに収納する。
 - ・児童玄関に入る際に、必ずマスクを着用し、手指のアルコール消毒を行う。

※ 新型コロナウイルス対策と熱中症予防のための措置です。よろしくお願い致します。

※ 熱中症の心配が無くなった時点で、傘の使用から一斉マスク着用への切り替えの連絡を致します。